



2011シーズンのチームスローガンが決まった。「WILL」-限界を感じても、たどり着く先が見えなくても、力を振り絞り、一丸となって未来を切り拓く。そんな強い決意を込めて、いざ初陣。

5/1(日)、春季交流戦の開始とともに、Xリーグ東日本がようやく開幕しました。オービックシーガルズも、グラウンドの復旧が叶わない中、各方面の皆様の力を借りながら、5/7(土)に川崎球場で初戦・オール東京ガスクリエイターズ戦を迎えることができました。結果は45-20で勝利したものの、攻撃力に乏しく、まだまだ粗さが目立つ試合内容。春は基礎をしっかりとつくることを第一に、ベースを上げて次戦に臨みます。

試合会場には、復興支援TシャツWILL Tを着てくださっている方も多く、募金にも多く

の方にご協力いただきました。開幕を心待ちにし、不安定な天候にも関わらずお運びいただいた皆様、ありがとうございました。

開幕に先立ち、毎年選手が中心となって考えているスローガンが「WILL」に決まりました。大震災後の、チームの存在意義をも問われる大きな節目の年に、本質的な言葉を選んだ選手たちの覚悟に期待しましょう。WILL=志を磨く長い戦いが始まりました。

【東日本春季交流戦 試合日程・結果】
第1戦 5/7(土)vs.オール東京ガス ○45-20
第2戦 5/22(日)13:00vs.明治安田@川崎球場

【フィールドレポート】

フットボールキャラバンを経て初陣を飾る

被災したグラウンドを8月には復旧すべく全力を挙げる一方で、チームは練習場を転々とするフットボールキャラバンへ。異なる環境を楽しみながら、チーム強化を図ります。

4月は、千葉大学、早稲田大学、川崎球場(アサヒビールシルバスター)に練習場をご提供いただきました。5/3(火)~5(木)には茨城県神栖市波崎で試合前合宿。これもひとつの復興支援、と被災地での合宿を敢行しましたが、現地の復興への意気に、逆に大いに勇気づけられました。ご協力くださった皆様への大きな感謝を胸に、初戦に臨むこととなりました。



波崎も液状化などの被害が大きかった被災地。横断幕を掲げてエールを送りました



初戦のスピーチは2インターセプトラータンタッチダウンを決めたLB#5坂田選手

【ホームタウン活動レポート】

震災復興イベントに参加@津田沼、幕張

シーズンイン後の週末は、練習がある選手に代わって、チームのOBたちがイベントへの参加を買って出てくれました。

●4/3(日)社団法人習志野青年会議所主催「習志野市災害復興チャリティイベント ~がんばろう日本・がんばろう習志野~」(JR津田沼駅前):被災地でもある地元・習志野への募金の呼びかけと、SEA-Cheerはステージでパフォーマンスを披露しました。

●4/24(日)実行委員会・幕張ベイタウン商店会主催「東日本大震災復興イベント まくはりスポーツフェスタ」:数種目に挑戦できる「アメフト体験コーナー」を設け、140名余の子どもたちと交流しました。



チームの支援活動を知り、多くのOBが家族とともに協力してくれています(4/3津田沼)



千葉ロッテ、ジェフユナイテッドなど地元スポーツチームが参加しました(4/24幕張)

【マンズリートピックス】

Gulls for Tohoku義援金にご協力ありがとうございます ー初回納付のご報告ー

3月16日に受付口座を開設させていただいた東日本大震災義援金に本当に多くの皆様からご寄託いただき、誠にありがとうございます。

皆様からお預かりした義援金に復興支援Tシャツ「WILL T」の販売収益金を加えた総額が、4月末日におかげさまで200万円を超えました。そこで、右記の通り、初回納付として200万円を寄付いたしましたことをご報告させていただきます。

拙い私たちの活動にご賛同ご協力くださいました

皆様に、あらためて心よりお礼申し上げます。「Gulls for Tohoku/+0.01 for Japan」活動を今後も様々な形で継続していく所存ですので、どうぞ引き続きご支援ご指導いただけますようお願いいたします。

- 義援金総額(4月末日時点):2,120,425円
(内訳)募金 1,992,025円、WILL T収益 128,400円
- 今回の納付先・納付額
日本赤十字社 180万円(90%)
東北学生アメリカンフットボール連盟 20万円(10%)



東北学生連盟小野理事長へ。8名が仙台を訪ね、学生クリニックも開催しました